

つくって、つかって、たのしんで

B

実践概要

自分が使う入れ物や、かべ飾りなど、作りたい内容にするにはどうすればよいか、シーケンスの考え（手順や方法）を用いて作り方を確認しながら活動する。

使用教材（製品名）・ICT環境（OS名等）

「つくって、つかって、たのしんで」
 図画工作 3・4下（開隆堂）
 短冊

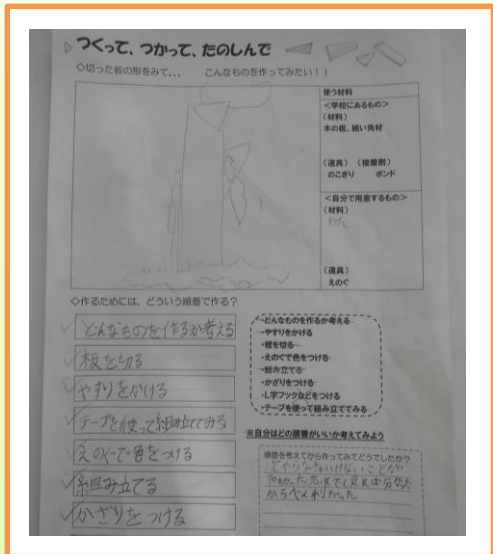
題材計画（全12時間）

	○主な学習活動	●指導上の留意点・◇評価内容等
一 次	○画用紙を使って、いろいろな組み合わせを試し、作りたい形のイメージをふくらませる。	◇どのように組み立てるかによって、入れる場所の広さや数などが違ってくことに気付くことができる。
二 次	○合板をいろいろな形になるようにのこぎりで切る。 ○どのような順序なら作りたいものができるか短冊を使って、班ごとにつくる順序を考える。 ○自分の考えたものにするためにプリントに考えた順序を書く。 ○毎時間始めに、順序をプリントで確認しながらつくる。	●のこぎりの使い方の安全指導を行う。 ●班の友達と短冊を入れ替えながら友達の考えを知る。 ◇自分のイメージになるように作る順序を考えている。 ◇順番を考えると作りやすくなることに気付くことができる。
三 次	○できた作品を全員で鑑賞する。	◇友達や自分の作品のよい所を見付けることができる。 ●順序を考えて作ることの効果を振り返る。

ここに注目！（本事例のポイント）



短冊を使って、作る手順を班で話し合うことによって、友達の意見を参考にしながら、自分の手順を考える。



<児童の振り返り>

次にやらなければいけないことがすぐ分かった。順番を考えてからやったら次何をしようかと途中で困らなかった。友達の考えた順番を知り、こういう考えもあるんだなと思った。